科目名	解剖学特論(*1)	分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位

担当教員	◎教授　古井　滋　　准教授　太田　樹					授業方法	講義
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	前期	配当コース	医学物理士コース

授業の概要	解剖学は生体の形態と構造を研究する学問である。本講義では、医療系学問の基礎となる系統解剖学を学ぶ。
授業の到達目標	①人体の構造を三次元的に説明できる。 ②基礎である解剖名を説明できる。 ③解剖名を英語で説明できる。

授業計画

回数	担当者	行動目標
1	古井　滋　教　授	人体部位・解剖学的な位置について説明できる。
2	太田　樹　准教授	脳神経・脊髄・抹消神経について説明できる。
3	太田　樹　准教授	感覚器について説明できる。
4	太田　樹　准教授	肺・気管支について説明できる。
5	太田　樹　准教授	胸膜・胸郭について説明できる。
6	太田　樹　准教授	乳房について説明できる。
7	太田　樹　准教授	大血管・縦隔について説明できる。
8	太田　樹　准教授	食道・胃・十二指腸について説明できる。
9	太田　樹　准教授	結腸・直腸・肛門について説明できる。
10	太田　樹　准教授	泌尿器について説明できる。
11	太田　樹　准教授	生殖器について説明できる。
12	太田　樹　准教授	内分泌について説明できる。
13	太田　樹　准教授	免疫について説明できる。
14	太田　樹　准教授	頭蓋骨・錐体について説明できる。
15	太田　樹　准教授	体幹骨・四肢骨について説明できる。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	該当期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	清水勘治著　解剖学　第10版　金芳堂
参考書	藤田恒夫著　入門人体解剖学　南江堂
評価方法	レポート50%、授業内課題50%
その他履修上の注意事項	(*1)2018年度以降入学生のみ履修可 試験やレポート等に対し、講義の中で解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP1が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。